

2024年7月22日  
株式会社アイネス

## データドリブン経営を進化させるマスターデータ統合基盤 「Aerps MASTER Enterprise」販売開始

株式会社アイネス（本社：東京都中央区、代表取締役社長：服部修治、以下 当社）は、企業のデータドリブン経営を進化させるマスターデータ管理（MDM）製品「Aerps MASTER Enterprise（アープスマスターエンタープライズ）」の販売を開始しました。当 MDM 製品は、社内の複数の情報システムと連携可能なマスターデータ統合基盤として、データ品質の向上とデータ管理のコスト低減を実現し、データガバナンスの強化とデータドリブン経営の実現を支援します。

### 【現代ビジネスにおけるデータ管理の課題】

近年、データドリブン経営が注目を集め、企業では保有するデータ（＝情報資産）の利活用に力を入れ始めています。しかしながら、社内の情報システムは組織ごとに縦割りで導入されることも多く、システムごとに複数のデータベースが点在することは珍しくありません。これにより、マスターデータの重複や不整合が発生し、データの一貫性や信頼性が損なわれる問題が生じています。これらのデータ管理の問題は、企業のデータガバナンスの弱体化を招き、データドリブン経営への移行を阻害しています。

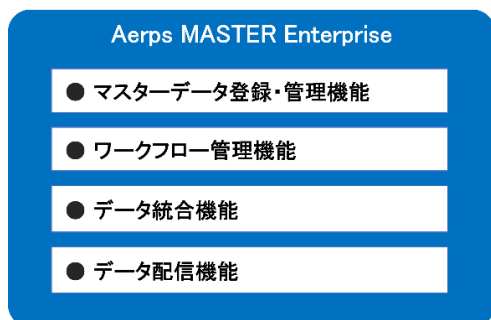
### 【「Aerps MASTER Enterprise」の特長】

これらの課題解決のために生まれたのが「Aerps MASTER Enterprise」です。当 MDM 製品は、マスターデータ登録とシステム間のデータ統合機能を有しております（図1）。ERP（業務統合パッケージ）や、ベンダーが異なる複数のシステムのデータを連携し、マスターデータ統合基盤として機能します（図2）。データの一貫性と信頼性を保ちつつ、マスターデータ登録業務を効率化することでコストを低減できます。

こうした特長により「Aerps MASTER Enterprise」は、企業が保有する情報資産を最大限に活用したデータドリブン経営を実現し、競争力を高める一助となります。

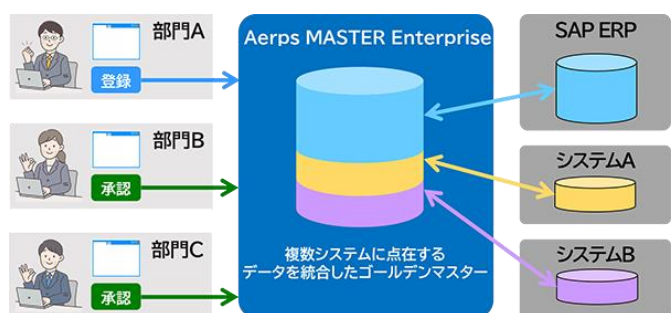
（図1）

「Aerps MASTER Enterprise」の機能一覧



（図2）

マスター登録ツールおよび他システム連携機能を  
保有した「マスターデータ統合基盤」



- ◆ 「Aerps MASTER Enterprise」の詳細については、当社ホームページをご確認ください。  
<https://www.ines.co.jp/service/AerpsMASTEREnterprise.html>

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社アイネス <https://www.ines.co.jp/>

〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町一丁目 38 番 11 号

【サービスに関するお問い合わせ】

営業本部 民間営業部 E-mail : regional\_sales@ines.co.jp

【報道関係者からのお問い合わせ】

コーポレートスタッフ本部 経営企画部 E-mail : koho@ines.co.jp